

WELCOME TO COMPACT CITY WARABI

蕨市は都心に近い埼玉県の南部に位置し、市域が5.11km²と日本一小さく、そこに75,000人以上が暮らす日本一人口密度が高い市です。コミュニティ豊かな街を舞台に、日本一住みやすくあたたかい街づくりを推進しています。端から端まで約4kmの中に、小学校7校、中学校3校の10校（全て中規模校）が配置されています。

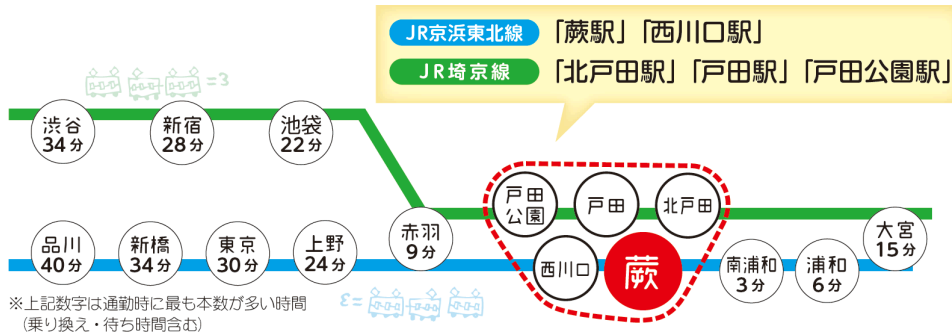
5.11km²
日本一のミニ都市



蕨のこんないいところ

アクセス抜群!!学校が近い!!

京浜東北線、埼京線の2路線が利用可能で、都内からの乗り換えもなし。駅から学校間も徒歩15分以内で通勤のしやすさが魅力です。学校を異動しても通勤スタイルを変更する必要ありません。



蕨の特色ある教育

★CEFR(セファール)A1レベル65.2%

「聞く、読む、話す、書く」の生徒一人一人の4技能の定着状況を把握し、今後の英語学習に役立て、個々の英語4技能を伸ばす、GTEC（英語外部検定試験）を中学校2・3年生の全生徒を対象に実施し、言語活動を通して子供達のコミュニケーションを図る資質や能力を育てています。

※2022 CEFR(セファール)A1レベル65.2%達成

また、直接雇用の質の高いALTを市内小・中学校へ全校配置し、常にネイティブな英語の発音やコミュニケーションに触れる環境・授業を全校で提供しています。

★いじめ未然防止ワーキンググループ

いじめ防止対策の一助として、令和元年度「いじめ未然防止ワーキンググループ」を発足し、いじめの無い明るい学級・学校づくりを推進するため、5か年計画でライフスキルの手法を活用したいじめ未然防止授業プログラムの開発と学校生活アンケートの研究を実践し、いじめを未然に防ぐアプローチを市全体で取り組んでいます。

ICT活用



★埼玉県1位!

関東6位! 情報化ランキング

日経パソコン『教育とICT No.27』で公立学校情報化ランキングが発表され、蕨市が埼玉県1位、関東圏においても6位という結果が掲載されました。「学校における教育の情報化の実態等における調査」の結果をもとに「インフラ整備」（コンピューターの充足率、大型提示装置、無線LAN、校務支援システムの整備

率等）と「教員指導力」（ICTを活用して指導する力、ICT活用指導力の研修を受けた教員の割合等）の2観点から算出されたランキングとなります。児童生徒・教職員ともにchromebookが通常授業で使用され、中学校ではDXルームの整備も進んでいます。校務支援システムは、お任せ校務C4thが早くから導入され、勤怠管理や保健機能を加えて、総合的に活用されています。

働き方改革 ★ICTを活用して効率UP!

教職員にGoogleアカウントの配付、教職員ポータルサイトの設置等、WEBやクラウドを活用し、指導案や教材の共有を図ることで、授業準備等にかかる時間を削減し、業務の効率化を推進しています。

